



日本でいちばんきれいな川は、どこなの

きれいさを計る指標（ものさし）

あなたは、きれいな川という、どんなものを想像しますか。

すみきった青い空、岸辺の木々を映す川面、そして、すきとおった水の流れを想像しませんか。

川のきれいさを計るには、いくつかの指標（ものさし）があります。水の色、にごり、におい、そこにすんでいる魚の種類などは、指標になります。

法律で定められている川の水のきれいさは、人の体に悪い影響をあたえる有害物質23項目で表す方法、水素イオン濃度（pH）や、生物化学的酸素要求量（BOD）などの項目で表す方法などがあります。

日本のおもな川の水質は、数か所の基準点を選び、月に1回以上、定期的に観測されています。こうして計られた水質によって、きれいな川や、きたない川の順位（ふつうはBODを指標にする）がつけられるのです。

流域に人が少ない地域に、きれいな川が多い

日本の川の中からきれいな川を選ぶと、きれいな川の流域には人が少ないという特長があります。第1位は、黒部川（BOD0.5mg/1, 富山県）、寒河江川（BOD0.5mg/1, 山形県）、後志利別川（BOD0.5mg/1, 北海道）です。

（監修・保岡 孝之）

